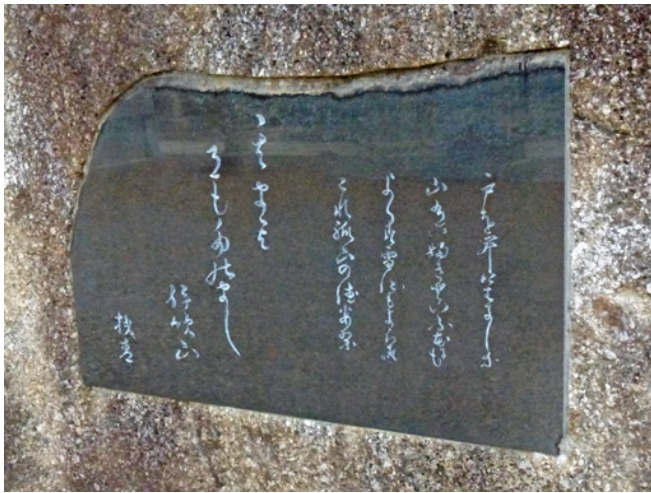


案内板も、興味あるものは拝見。このように画像記録するものもある。  
 何しろ記憶は、対象にもよるが、風化する可能性が高い。  
 私には、字が読めないことが多い。しかし、現代語訳があれば、記録しておく。  
**伊吹山**が登場。山を訪ねたことがある。琵琶湖対岸の**今津**からも**絶景**。



芭蕉は、元禄二年（一六八九）敦賀から「奥の細道」結びの地大垣へ、伊吹山を左手に見ながら北国脇往還を歩いた。そのあと、大垣の門人高岡斜嶺邸の句会で、この句文を残している。

その席で伊吹山は、花や雪や月の借景がなくても、ただ単に聳立する孤山としてだけで、立派に眺め賞し得る山容を備えていると褒めている。そして言外に句会の主人斜嶺の人柄は、伊吹山のようにだと述べた。

この句碑は、ほかに旧山東町朝日と大垣埼玉県・栃木県の四力所にある。

**芭蕉（桃青）の句文碑**

戸を開けはにしに  
 山有いふきといふ花にも  
 よらす雪にもよらす只  
 これ孤山の徳あり  
 其まゝよ  
 月もたのまし  
 伊吹山  
 桃青  
 （遺墨模写）

## ～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

看板もいろいろあって面白い。下記は、柏原**銀行跡**の説明板。

その後、コミュニケーションのひと時。こうした一期一会の出会いは、旅の途上ゆえの楽しみ。

お腹も満足。この柏原宿でも、いい時間を持つことができた。

会うは別れの始め（We can't depart without meeting.）。次は、**岐阜県**・今須宿へ。

